

# おさゴールド

登録番号：第5620号

登録年月日：平成9年7月15日

登録者：農林水産省農業生物資源研究所  
(茨城県つくば市観音台2-1-2)

鳥取県(鳥取市東町1-220)

育成者：増田哲男 吉岡藤治 真田哲朗

壽 和夫 長柄 稔

内田正人 井上耕介

村田健司 北川健一

吉田 亮

来歴：「おさ二十世紀」のガンマ線  
照射による人為的技変わり

## 特 性

### ■栽培特性

本品種の樹の性質は全般に原品種「おさ二十世紀」と同じである。樹勢は強く、えき花芽の着生は少なく、短果枝の着生は多く、短果枝の維持も容易である。

開花期は「豊水」より遅く、「おさ二十世紀」「二十世紀」「ゴールド二十世紀」と同時期で、「幸水」よりやや早い。

原品種「おさ二十世紀」と同様に高い自家和合性を有するため人工受粉が不要である。

本品種は、原品種「おさ二十世紀」よりも黒斑病に対して明らかに強い耐病性を示すが、「豊水」や「幸水」のような完全な抵抗性ではなく、「ゴールド二十世紀」よりやや強い耐病性である。

### ■果実特性

中生の青ナシである。本品種の果実の品質、外観は原品種「おさ二十世紀」と同じである。また、「二十世紀」「ゴールド二十世紀」との識別は外観からは困難である。

収穫期は鳥取県では9月上～中旬で、「おさ二十世紀」「二十世紀」「ゴールド二十世紀」とほぼ同時期である。果形は円形で玉揃いはよい。果実の大きさは300g程度、果皮色は黄緑色を呈する青ナシである。果肉は白色を呈し、軟らかく多汁で、果汁の糖度は11度程度である。果実の日持ち性は、室温で14日程度で「二十世紀」と同じである。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病耐病性は、「おさ二十世紀」よりも明らかに強いが、「豊水」や「幸水」のような完全な抵抗性ではなく、現在普及している「ゴールド二十世紀」よりもやや強い耐病性である。えそ斑点病には病徴発現性であるため、非発現性の品種(新水、豊水等)を中間台木として高接ぎ更新を行う場合には中間台木のえそ斑点病検定が必要である。黒星病やその他の病害に対しては、赤ナシの慣行防除で対応可能である。

本品種の自家和合性は「おさ二十世紀」と同様に高く、1花叢あたり6～8果程度着果するので高品質果実生産(特に大玉づくり)のためには、摘らいや早期摘果が必須作業となる。

### ■地域適応性

本品種の黒斑病耐病性は、完全な抵抗性ではないが、現在普及している「ゴールド二十世紀」よりもやや強い耐病性を示し、病害防除も赤ナシの慣行防除で十分対応できる。

また、「おさ二十世紀」と同様に高い自家和合性を有するため人工受粉が不要となるだけでなく、開花時期が天候不順の場合でも安定した結実が確保できるので、「おさ二十世紀」「二十世紀」に代わる青ナシ品種として普及すると考えられる。

なお、苗木の生産販売はJA全農とつりが許諾を受けて行っているが、品種登録の日から3年間は県内優先で販売を行っている。

(北川健一)